

## 将来像4 未来を拓く産業の力を高める

世界最先端の科学技術基盤やオンリーワンの技術を持つものづくり産業の集積を核に、国内外の創造的な企業や人材が集まるとともに、アジアを中心とする世界とのつながりが強化され、国際的な産学・産産連携の拠点・兵庫が形成されている。

### 〔夢提案〕

- 化粧品開発に携わり、人だけでなく自然にもやさしいものづくりに取り組みたい。(県立農業高校生)
- エンジニアになり、地元へ帰って活躍したい。(県立篠山鳳鳴高校生)

### 兵庫の技術と蓄積を生かした国際的な産学・産産連携が形成されている

・兵庫の科学技術基盤を核に、世界との分業化・一体化を深化させて、共に成長する技術革新拠点が形成されている

- 鉄鋼・機械などの基幹産業や、部品・素材などに強みをもつ中小企業群が、高い技術力やサービスを生かした高付加価値化を実現し、成熟化するアジアなどの活力を取り込みながら一体で成長している
- 県内の企業や研究機関などが、関西各地の特色ある産業拠点やアジアなどの豊富な労働資源や生産拠点と、それぞれの得意分野を補いながら連携を深化させ、グローバル化に対応した技術革新を実現している

#### 成長分野で世界にはばたく企業（神戸）

県内企業が大容量ニッケル水素電池を開発。これにより、環境にやさしい電池駆動の次世代路面電車を実現した。また、海外企業と共同で台湾の都市交通システムを一括受注するなど、先端のモノとシステムを一体化して、世界へと展開している。



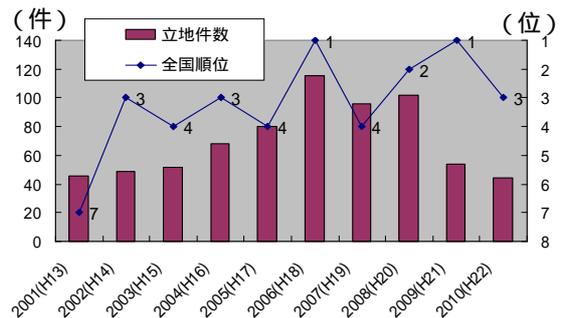
低床電池駆動LRV  
(ライトレール車両)

### 国内外の創造的な人材が集い企業などの立地が進んでいる

・国内外の課題解決に貢献する成長分野（健康、医療、環境・エネルギー、防災など）の企業や研究機関が集積している

- 最先端の科学技術基盤や研究機関、大学、国際機関などの集積により、国内外の留学生、研究者、技術者、クリエイターなどの特色ある人材が集まっている
- 世界に開かれた立地環境、豊かな自然環境などを生かして、企業の立地が拡大し、国内外の投資を呼び込んでいる
- 科学技術基盤の連携と積極的な産業利用が県内各地で進み、「神戸医療産業都市構想」を中核とする創薬、医療工学などの分野や、次世代電池・エネルギーの分野などで世界的な拠点が形成されている

#### 国内上位で推移する県内工場立地件数



出典：工場立地動向調査

#### 神戸医療産業都市構想

200以上(H22年度末時点)の医療関連企業・団体が集積。京速コンピュータ「京」などの基盤を最大限活用し、ライフ・イノベーションのグローバル拠点の形成をめざしている。



## 兵庫に根づく多彩なオンリーワン企業が育ち、活躍している

- ・世界のニーズとつながる価値創造型のものづくりとサービスにより、オンリーワンの「小さな世界企業」が県内各地で育ち、活躍している
- 中小企業の技術革新を促進する研究機関などとの連携や、海外展開を支援するしくみが充実している
- 優れた技術やサービスを背景に世界市場でシェアを高めるオンリーワン企業や、新しい分野で世界最先端をめざす企業が県内各地に生まれている
- 都市との近接性や豊かな自然環境を背景に、多自然地域に立地する環境・エネルギー産業や研究機関、クリエイターなどが増え、地域のなりわいを創出している

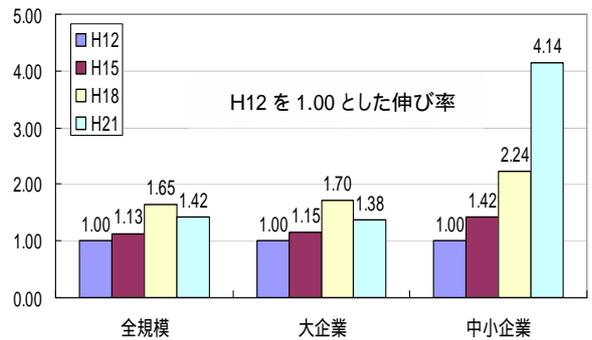
### 高度なオンリーワン技術をもつ企業(たつの)

独自技術で完全無漏洩のモータポンプを開発した世界的なトップメーカー。新幹線の車両用ポンプや関西国際空港の冷暖房設備、超純水を扱う半導体製造ラインなど、数々の分野でオンリーワンの技術を生かしている。



キヤンドモータポンプ

### 県内中小企業（製造業）の輸出額は 大企業を上回る伸び



出典：日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査」

### 環境と経済が共鳴するまちづくりに貢献する企業（豊岡）

自然環境と地域経済を両立させる豊岡市の理念に共鳴して、太陽電池の製造工場を立地。2010年には生産能力を150メガワットに増強した。スーパーサイエンススクールに指定された県立豊岡高校に講師を派遣するなど地域の環境学習にも貢献。

### 医療機器開発に進出する中小企業（神戸）

中小企業が共同出資により医療機器産業への参入などを支援する新会社を設立。また、神戸大学との産学連携により、腹腔鏡手術用デバイスの新規開発にも取り組んだ。



腹腔鏡手術用デバイス

## 西日本・東日本が自立しながら補完し合う産業ネットワークの構築に 兵庫が大きな役割を果たしている

- ・地域ごとに自立しながら相互補完できる双眼型・多極型の産業構造が構築され、災害やリスクに強い安定した産業活動が確保されている
- 一極集中型の産業構造が解消され、西・東日本で産業活動を持続できる製造、開発拠点の多元化が進んでいる
- 安定した国内生産を確保する一翼を兵庫が担い、世界経済におけるメイド・イン・兵庫への信頼が保たれている

### 産業構造の多極化を担う基盤の充実

兵庫には、空港、港湾、高速交通網など、安定した生産・流通を支える基盤が充実している。加えて、緑豊かな自然環境、大都市への近接性などの優れた立地環境を備えており、阪神間のもとより県内各地に、産業集積拠点が多数存在している。

#### < 県内産業集積拠点の例 >



ひょうご情報公園都市（三木）



尼崎臨海地区企業団地

## 協働シナリオ4 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり

産学公の連携により、SPRING-8など兵庫の誇る科学技術基盤を、成長分野の技術革新や、中小・中堅企業のものづくりに生かす取組をさらに進めていく。それにより、国内外の安全安心に貢献する技術革新の拠点を形成するとともに、世界に飛躍するオンリーワン企業を県内各地に育成する。

### ビジョン 10年間の主な取組とこれからの展開方向

世界とのさらなる一体化・分業化に対応するため、兵庫県COEプログラムや新産業創造プログラムなどにより、健康・医療、環境・エネルギー、情報通信といった成長分野の産業振興に取り組んできた。今後ともアジアなどとの連携強化により成長を取り込み、県内各地に還流させるための取組を推進する。

京速コンピュータ「京」、X線自由電子レーザー施設SACLAなどの整備・産業利用の促進や、産業集積条例による企業立地などにより、国内有数の産業拠点を形成しつつある。今後とも、さらなる集積・連携の強化により、世界経済の中で存在感のある技術革新拠点化をめざす。

ひょうごキャピタル制度や中小企業支援ネットなどにより、新事業への挑戦や中小企業のさまざまな課題に対する総合的な支援を実施してきた。引き続き、グローバル化に対応した技術・経営の高度化や、高齢化に対応した新分野への展開などを支援する取組を一層進めていく。

東日本大震災の広範かつ甚大な被害が、わが国の経済・産業にも多大な影響を与える中、大災害などのリスクに強い国際的な生産・流通体制の形成に向けて、兵庫が先駆的な役割を果たす。

### 兵庫の技術と蓄積を生かした国際的な産学・産産連携の展開

- ・国際的な視野で技術革新を実現する産学・産産連携の深化
  - 関西・アジアなどの特色ある産業拠点と、それぞれの得意分野を生かしながら進める技術革新の展開  
(ライフサイエンス、ナノ・バイオ、未来型情報家電・ロボット、次世代電池・エネルギーなど)
- ・大きく成長するアジアなどとの連携強化
  - 世界的な産業拠点の最適化の中で、兵庫に先端の研究開発拠点を置きながら、アジアなど海外の生産拠点と戦略的に連携する県内企業の展開支援
- ・わが国に続いて高齢化が進むアジアなどの多様なニーズに対応した産業の展開
  - 鉄道などの輸送システムやインフラ整備、医療・介護システムをはじめとする、高度な技術とサービス、維持管理、運用技術などをワンパッケージ化した海外展開の推進
  - 安全安心な食料・水の確保など、開発途上国への技術・サービス移転により、貧困の解決を図るビジネスの推進



新産業創造研究機構(NIRO)内の神戸ロボット研究所では、企業、公的機関などの参画で、神戸RT(ロボットテクノロジー)研究会を開催。



無振動・無騒音の岩盤破碎工法をアジア展開する企業(西宮)など、オンリーワンの強みを生かして海を渡る県内企業が増えている。

## 世界や地域の課題解決に貢献する成長企業などの集積

- ・ 科学技術基盤の活用促進による安全安心の先進地形成
  - S Pring - 8 や X 線自由電子レーザー施設 S A C L A、京速コンピュータ「京」など、世界的な科学技術基盤を結び、最大限活用した先進地の形成
  - 神戸医療産業都市を核としたライフサイエンス分野や、E - ディフェンスを活用した防災・減災など、兵庫ならではの安全安心技術の開発・発信
- ・ 多彩な企業集積を生かした次世代製品の創出
  - 基幹産業を力強く支える中小・中堅企業の技術高度化の推進（ナノテク部品、次世代電池など）
  - 産産連携の拡大による技術革新拠点の形成

## 「小さな世界企業」の各地域への立地・育成によるものづくり産業の革新

- ・ オンリーワンの技術開発を創出する産学・企業間連携の拡大
  - 新興国・途上国の多様なニーズに対応して成長する小さな世界企業の育成（ものづくり、環境・エネルギー、生活関連サービス、ファッション、食品・水など）
  - 大都市への近接性、多彩な自然環境などを生かした県内各地域への企業立地の拡大
- ・ 県内企業の発信力強化、海外展開などを支援するしくみづくり
  - 海外進出を支援する「海外ビジネス村」（現地企業ネットワーク、企業団地）などの構築による現地企業、研究機関などとのマッチングのしくみづくり

## 西日本・東日本それぞれが自立した、しなやかな産業ネットワークの充実

- ・ 多彩な地域から構成される産業構造の構築
  - ものづくり産業における一極集中型の産業構造の解消と、双眼型・多極型の産業構造の構築における兵庫の役割発揮
  - 県内企業などによるバックアップ機能の構築、高品質で安全安心な生産・供給体制の確保によるメイド・イン・兵庫の国際的な信頼性・競争力の堅持



計算科学研究機構、高度計算科学研究支援センター、県立大学などが連携して「京」の活用に取り組む。（イメージ提供：理化学研究所）



先端医療センター（神戸）は神戸医療産業都市構想の中核施設として、基礎研究から臨床応用、進出企業支援などに取り組む。



播磨科学公園都市に立地する S Pring - 8 と S A C L A の利用拡大に期待が広がる。（航空写真提供：RIKEN/JASRI）



質の高い熟練の木製ハンガーを国内外に販売（豊岡）するなど地域企業の有するブランドが、注目されている。

## 将来像5 地域と共に持続する産業を育む

地域資源を生かした個性ある地場産業やツーリズム、力強い農林水産業が、地域に活気をもたらしている。また、身近な地域商業や、高齢化に対応した新しい生活産業が活性化し、住民の暮らしを豊かにしている。

### 〔夢提案〕

- 「安全な食」などをキーワードに県内の企業群を育て、大学の研究もまきこんで、徹底的に先端産業の連携を進めていく。そこでの雇用が大きな活性化の力になる。(兵庫みらいフォーラム参加者)
- 地産地消をめざす。その地域だけの特産品を開発し、他の人にも食べてもらう。(県立社高校生)

### 地域産業が固有の付加価値により発展し、地域の魅力を高めている

- ・ものづくりの技術力やサービス、デザインを生かした高付加価値化により、地場産業などのブランド力が向上している
  - 多品種少量生産のものづくりや地域ならではの細やかなサービス、情報通信技術の活用などにより、多様なニーズに対応した地域のブランドが成長している
- ・歴史や風土、生活文化に息づく地域資源が再発見され、地域の新しい活力を生み出している
  - 芸術文化、景観、食文化、多自然地域のライフスタイルなど、地域に息づくあらゆる資源の積極的な活用が進み、国内外のさまざまな層に受け入れられている

#### 地場産業・地域資源の新たな展開

- ・手延そうめん（たつの）  
日本の食文化そうめんを海外展開。ブランド確立と市場開拓に取り組む。
- ・播州織（西脇）  
綿糸に絹のような光沢を与えた独自の生地を開発。世界のトップブランドに供給している企業もある。
- ・古民家で農家民宿（篠山）  
丸山地区で古民家を滞在施設として運営。農業体験、歴史遺産の散策など、身近にある地域資源をつなぐ。



### 多彩な地域資源をつなぐツーリズムで地域ににぎわいが生まれている

- ・兵庫・関西の多彩な地域資源を「物語」でつなぐツーリズムにより、国内外から誘客が拡大し、地域に新しい交流と活気を生み出している
  - 自然環境、農林水産品、療養地、名所旧跡、産業遺産などの観光資源が、地域固有の「物語」で結びつくとともに、住民自身の参画によるホスピタリティ（おもてなし）により、国内外からの誘客が拡大している
  - 大都市との近接性や関西共通の歴史・文化、交通・物流基盤などを生かし、特色ある観光資源を広域的につなぐツーリズムが展開している

#### 鉱山跡を観光資源として活用（養父）

明延鉱山の坑道の一部を探検坑道として観光資源化。また、鉱石の輸送に使われた明神電車（一元電車）も活用している。



#### 県内外国人旅行者は増加基調で推移



出典：国際観光振興機構 訪日外客実態調査

## 高度な経済基盤により力強い産業としての農林水産業が再生し、食の自立を支えている

・集落営農や企業参入などによる農地利用集積の拡大、上下流連携のしくみづくりなどにより、効率的で安定的な農林水産業の経営基盤が確立している

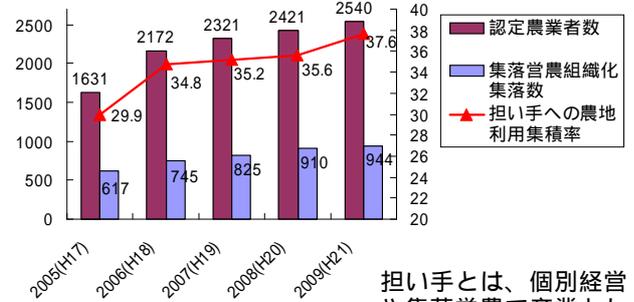
- 集落営農や企業参入、広域的な集落連携などの多様かつ高度な経営スタイルにより、農地利用の集積拡大や新規就農者の育成、技術開発などに取り組む経営体が増え、安定した生産・流通が実現している
- 上下流連携による森林・漁場保全の取組や、小規模私有林の集中管理のしくみが広がり、豊かな森林資源や漁場が育まれている
- 大学、研究機関などとの積極的な連携により、植物工場や栽培漁業、水資源の活用などにおける技術開発が進み、食と環境の世界的な先進地となっている

・高品質で安全安心な県産農林水産物のブランド化や6次産業化の推進により、地産地消が広がるとともに、国内外に販路が拡大している

- 多様な自然環境や大消費地への近接性などの地域特性を生かして、消費者と生産者がともに支え合う「県産県消」が定着している
- 農商工連携や6次産業化が進むとともに、高品質で安全安心な兵庫ブランドが国内外で評価を高め、兵庫の成長産業となっている

### 進む農業経営基盤の整備

【認定農業者数、集落営農組織化集落数の推移、担い手への農地利用集積率の推移】



担い手とは、個別経営や集落営農で産業としての農業を担う農業者

出典：県農業経営課資料から県ビジョン課作成

### 安全安心な県産品を海外へ（南あわじ）

HACCP対応の食品加工場を新設し、水産加工施設で県第1号となる食品衛生管理プログラムの認定商品を製造。  
わかめの佃煮、淡路ダコ、くぎ煮など、淡路産品の海外展開にも取り組んでいる。



## 暮らしを豊かにする新たな生活産業が成長するとともに地域商業が再生している

・高齢社会のニーズに対応し、暮らしをより豊かにするさまざまな生活関連サービスが生まれ、地域を支えている

- 高齢者や障害のある人などの暮らしを支える医療・介護、安全安心な食の確保など、人と人とのつながりを結わえ直す新しいビジネスモデルが、地域の暮らしと雇用を支えている

・空き店舗の活用やさまざまな地域産業との連携により、まちづくりに対応した地域商業が再生している

- 地域の小売・サービス業が、情報通信技術の活用、異業種連携の拡大などにより活性化し、消費者と直接つながる「顔の見える商い」が見直されている
- 空き店舗の活用など、まちづくりと一体での商店街の再生により、地域商業が活気を取り戻している

### 地域の協働で移動手段を確保（宍粟）

自治会などが運営母体となり、コミュニティバス「思いやり号」を運行。県内各地域で、住民や企業、自治体などが協力し合い、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗合タクシーを運行する取組が進んでいる。



### 地場産業をテーマに商店街づくり（豊岡）

宵田商店街では地場産業の鞆をテーマに、異業種の店舗も協力してオンリーワン型の商店街活性化に取り組んでいる。



## 協働シナリオ5 地域を生きし共に持続する産業づくり

これまで取り組んできたものづくり技術支援、農の担い手づくりなどをさらに推進し、地域に根ざし、地域の暮らしと雇用を支える産業の高付加価値化と経営基盤強化を図る。また、高齢社会に対応した新しいサービス産業など、地域と共に持続する産業を育成する。

### ビジョン 10年間の主な取組とこれからの展開方向

地域産業の高付加価値化のため、県立工業技術センターなどでの技術支援や融資制度の充実、市場開拓支援などに取り組んできた。今後とも、地場産業をはじめとする地域ブランドの魅力のより一層の向上をめざして、企業間・研究機関などとの連携促進や、国内外への発信を強化する。

山陰海岸ジオパークやコウノトリなど、地域固有の資源を生かし、つなぐ取組を推進する中で、古民家や食文化、産業遺産などのさまざまな観光資源の活用が進みつつある。地域の持続的な活性化のため、住民参画による地域資源の発掘、産業化を一層推進する。

農林水産業の基盤強化のため、認定農業者や集落営農などの担い手づくりを推進するとともに、県ブランド認証食品、県産木材の流通促進などに取り組んできた。今後、都市と農漁村が共に支え合い、食の安全安心に対するニーズに対応しながら、力強い産業としての農林水産業の振興を図る。

地域商業の核となる商店街振興のため、貸付・補助制度の充実や再生計画の策定支援などに取り組んできたが、各地域で人口減少・偏在化、高齢化が急速に進んでおり、空き店舗を活用したまちなか再生や直売所・移動販売などによる都市と農山漁村との連携強化によるにぎわいづくりを一層進めていく。

### ものづくり技術の高度化、高付加価値化による地域ブランド力の強化

- ・ものづくり技術の高度化、高付加価値化
  - 地場産業などの技術を継承し、経営力を有する次世代の人材育成
  - ニーズの多様化や高齢社会化に対応した多品種少量生産、オーダーメイド型ものづくりによる地域産業の振興
  - 情報通信技術の活用、異業種・大学などの研究機関・デザイナーなどとのマッチングなどによるメイド・イン・兵庫のブランド強化



県立工業技術センターと特産品開発（のじぎく茶）に取り組むなど、技術支援・高付加価値化による地域産業の再生に向けた挑戦が進んでいる。

### 隠れた地域資源の発掘と発信による地域のにぎわいづくり

- ・隠れた地域資源を産業化するしくみづくり
  - 自然環境、景観、歴史文化、産業遺産、アート、食・生活文化などの価値を再発見し、産業化につなげるしくみづくり
  - 住民、企業、NPOなどの連携による地域ファンドの形成、地域人材の育成
- ・地域をつなぐ「物語」型ツーリズムの展開
  - 農村体験、地場産業の「匠」の技術体験、温泉地での健康回復など住民参画によるホスピタリティ（おもてなし）を生かした体験型ツーリズムの振興
  - 関西を結ぶ広域観光ルートづくりによる長期滞在型ツーリズムの推進、大都市への近接性を生かした多彩な観光プログラムの形成



学生とのコラボレーションにより、伝統工芸の新展開に取り組む事例。（写真：ちりめんゆかた）



山陰海岸ジオパークの魅力を生かし、地域資源をつなぐ新しい観光ルートへの誘客に取り組む。（写真：玄武洞（豊岡））

## 経営基盤の高度化とブランド化による力強い産業としての農林水産業の振興

- ・ 経営基盤の高度化による農林水産業の振興
  - 高度な技術と経営基盤を有する認定農業者の育成、集落営農化の拡大、若者や高齢者の新規就農離陸支援など、地域のなりわいを支える力強い農林水産業の推進
  - 情報通信技術を活用した農地管理、植物工場、栽培漁業、水資源の保全など、大学、研究機関などとの連携強化による新技術の開発・普及
- ・ 多彩な地域が共に支え合うしくみづくり
  - 直売施設の整備、都市近郊農業の推進など、大消費地への近接性を生かした農林水産業の推進
  - 集落の特性に応じた農地利用の集積、農地・森林の共同管理など、広域的な集落連携の推進
  - 上下流連携による豊かな森林と漁場の保全など、都市と農漁村が共に支え合うしくみづくり
  - 日本版C S A のしくみづくりなどによる「県産県消」の推進
- ・ 高品質で安全安心な県産農林水産物のブランド化の推進
  - 生産・加工・流通・消費の連携や、6次産業化の推進による兵庫産品のブランド力の強化

< C S A (Community Supported Agriculture) >  
 消費者が地元の農家から農産物を直接、代金前払いで定期購入するシステム

## 高齢社会のニーズに対応した多様な生活産業の育成と地域商業の再生

- ・ 高齢社会のニーズに対応した多様な生活関連サービスの展開
  - 住民出資による共同店舗や移動販売、買い物弱者をつくらない御用聞きなどのビジネスモデルへの進出・起業の創出
  - 介護、生活支援など、高齢者や障害のある人などの暮らしや余暇を支えるサービス産業の育成、高度人材の育成
  - 情報通信技術を活用した介護・保育の見守りサービスなど、生活の安全安心を支える新技術の開発・普及
  - ツーリズム、地場産業、農林水産業などと連携したオンリーワンの商店街づくり
  - 事業所サービス、地域金融などとの連携による、地域密着型の中小企業などに対する支援のしくみづくり
  - 空き店舗を活用したデイサービスやケアハウス、ホームホスピスなど、安全安心のまちなか拠点づくり
  - 地域経営や集落再生を担う住民起業へのアドバイザー派遣などの充実



ひょうご農業MBA塾では、企業的感觉を備え、地域の農業経営モデルのリーダーとなる人材を育成する。



生育環境を制御して、安全で安定した栽培が可能な都市の植物工場が増加している。(写真：尼崎レタス)



県産木材の安定供給を担う協同組合兵庫木材センターの大型製材工場(宍粟)が始動した。



中山間地域等直接支払制度を活用した直売所(上郡)など集落活性化の取組が進められている。



都市部の商店街などで、ファーマーズマーケットを運営。地産地消による食の安全や、商店街の活性化に結びつける取組が増えている。(写真：元町一番街水曜市(神戸))

## 将来像6 生きがいにあふれたしごとを創る

一人ひとりが持ち味を発揮し、民間企業とNPO、しごとと地域活動など、個々の生きがいに合わせた活躍の場を行き来する複線型のライフスタイルが実現している。また、高齢社会を支え、人と人、地域と地域のつながりを生み出す新しいしごとが広がっている。

### 〔夢提案〕

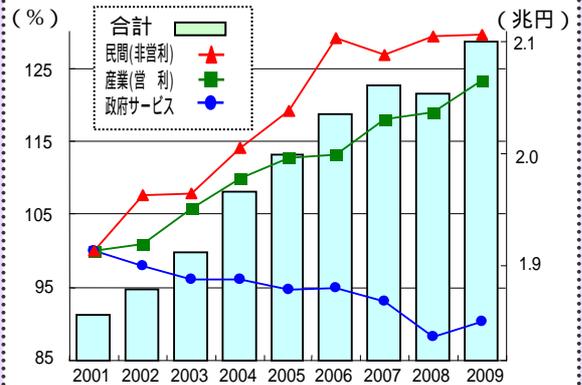
- ▶ 地域で株式会社をつくって、利益を出し、地元還元することができれば、若い人の働く場所もでき、もっと良い社会になるのではないか。(阪神北地域夢会議参加者)
- ▶ 高齢者が共同で住み、週に2～3日でも働ける場ができれば、住んでいる私たちが魅力あるまちづくり、孤独にならない暮らしができるのではないか。(兵庫みらいフォーラム参加者)

### 社会的起業などの社会貢献型のしごとが広がっている

- ・社会的起業、NPOなどが新しいしごとの場として定着している
  - ボランティアや地域貢献などにやりがいを実感する県民が増え、新しいしごとの場として社会的起業やNPOなどが定着している
  - 社会的起業家やNPOなどの活動を支える中間支援組織や、企業、大学などとのネットワークが拡大し、安定した経営が実現している
- ・地域課題に貢献し、つながりを生み出す新しいしごとが広がっている
  - 高齢者や障害のある人などの暮らしを支える医療・介護、安全安心な食の確保など、人と人とのつながりを結わえ直す新しいビジネスモデルが、地域の暮らしと雇用を支えている(再掲)

社会貢献型の産業・事業が拡大  
医療、介護、教育などの公共的な産業部門のうち、社会的起業(ソーシャルビジネス)、NPOなどの民間部門が高い成長を示している。

【公共サービス関連産業・事業の県内GDP(名目)】



左軸(%) 2001年を100とした各部門の成長率(折れ線グラフ)  
右軸(兆円) = 合計額(棒グラフ) 出典: 県ビジョン課

### 兵庫発の人材がビジネス、貢献などのさまざまな分野で国内外に飛躍している

- ・グローバル化に対応し、国内外で活躍できる兵庫の人材力が向上している
  - 企業や教育機関の連携による職業訓練、成長が見込まれる介護・生活サービス分野の人材育成、高度な経営力を有する人材育成などにより、兵庫の人材力が向上している
  - 海外での就学・就業経験を県内での就業や地域づくりに生かせる環境が整い、国際的な知見が地域の課題解決に生かされている
- ・知的基盤などの集積が、国内外から創造的な人材を集め、国際的な知の拠点を形成している
  - 最先端の科学技術基盤や研究機関、大学、国際機関などの集積により、国際的な知の拠点が形成され、国内外の留学生、研究者、技術者、クリエイターなどの特色ある人材が集まっている(再掲)

#### 「匠」の技術を伝承(相生)

地域の造船関連会社が集まり、技能研修センターを運営。造船の専門教育を実施し、若手後継者の育成を図る。



#### HUMAP(兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク)を通じて活発化する「人流」

【県内大学と交流協定を結ぶ海外大学数と、受入・派遣される留学生数の推移】



出典: 美しい兵庫指標

## 誰もが生きがいを持って働ける環境が充実している

- ・年齢、性別、障害の有無、国籍、文化の違いなどにかかわらず誰もが働きやすい環境が整っている
  - 高齢者や障害のある人、ニートやひきこもりの若者などを対象に、相談から就業までワンストップでサポートするしくみや、地元商店街などとの連携による支援が増加し、多様な主体の自立、就業を支えている
  - 高齢者自身が主役となり、豊富な経験や人脈などを生かしながら、共に働ける地域のしごととの場が生まれている
  - 育児期間中の職業能力開発や、育児後の職場復帰ができるしくみが整い、性別にかかわらず育児などに応じた働き方が実現している
  - 企業による特例子会社制度の活用や地域の商店街との連携などにより、障害のある人が主体的に働ける環境が充実している

### 若者のしごとへの挑戦を応援

- ・即戦力となる職業訓練の実施(神戸)

企業が若者などを中心に企業のニーズに応じたものづくり技術の職業訓練やカウンセリングを実施。



- ・若者の自立を支援(豊岡)

企業組合が廃小学校を活用し、農村との連携でニートやひきこもりの若者に農作業などの就業訓練を実施。農業の担い手や加工品づくりでの起業につなげる。



### 女性のキャリア支援に取り組むNPO(神戸)

子育て中の女性が児童保育のスタッフとして働きながら保育士資格取得のための研修を受けられる場を提供している。



### 地域での働く場が広がる(尼崎)

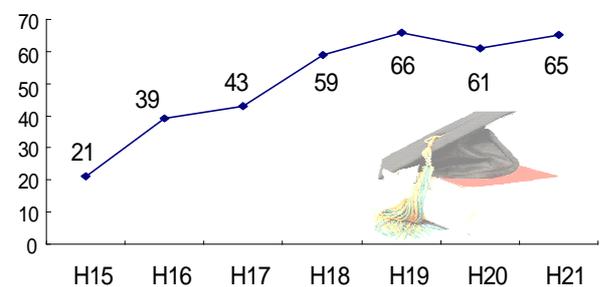
NPOがコミュニティレストランを開設。商店街の協力も得ながら、障害のある人たちとともに働いている。



## しごとと生活が調和した複線型のライフスタイルが実現している

- ・一人ひとりのライフスタイルに応じて、就業、起業、再挑戦などの働き方を選択できる社会が実現している
  - 生活との調和を基本に、就業、起業、社会貢献、生涯学習、育児など、多様なライフスタイルを選択し、次のステージに生かせる社会が実現している
  - 雇用形態によらない給与の均など待遇や離転職者へのセーフティネットが充実して人材の流動性が高まり、生きがいに応じたしごと選びが実現している
  - フリーエージェント、協同労働などの「雇われない」働き方が選択できる社会が実現している

### 兵庫県立大学の社会人入学者数



出典：県大学課

### 「雇われない」働き方の例

- ・協同労働：労働者が、共同出資により、働きながら経営にも参画するしくみ。
- ・インディペンデント・コントラクター：企業と専門的な分野で業務単位の請負契約を結び、活動する独立した個人事業者。米国では900万人近いICが活動。

## 協働シナリオ6 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり

NPOなどによるコミュニティビジネスの起業支援などの取組をさらに推進し、社会に貢献しつつ人と人のつながりを結びなおす新しいしごとの場を創出する。あわせて、一人ひとりが持ち味を発揮し、多様な働き方を選択する中で、生きがいを実現できるしくみづくりに取り組む。

### ビジョン 10年間の主な取組とこれからの展開方向

地域で活躍する人材の育成、しごとの場の創造をめざして、ひょうごボランティアプラザでのボランティア活動支援や、生きがいしごとサポートセンターでのコミュニティビジネス起業・就業支援に取り組んできた。こうした社会貢献型のしごとをより安定的に拡大していくため、ノウハウ共有の場づくりや経営支援を行う中間支援組織の育成を図る。

グローバル化や経済・雇用情勢の変化に対応しながら、兵庫経済を力強く支える人材を育成するため、ものづくり大学の整備推進や、県立大学における経営専門職大学院の開設、カーネギーメロン大学との連携など、これまでの取組を生かしながら、人材の集積と循環による知の拠点形成をめざす。

さまざまな主体の就労機会を創出するため、シニアしごと倶楽部やひょうご女性チャレンジひろば、障害者専門職業紹介所の設置などに取り組んできた。本格的な人口減少社会を迎える中、さまざまな主体の元気を社会に生かすとともに、それぞれが生きがいを持って働ける環境づくりを推進していく。

ひょうごしごとと生活センターの開設などを通じて、成熟社会にふさわしいワークライフバランスの推進に努めており、地域活動や社会的起業、生涯学習など、それぞれのライフステージに応じた生きがいを実現できる場づくりをさらに進めていく。

### 「社会貢献型」のしごとの創出

- ・社会起業家の育成とネットワーク化
  - 社会貢献に取り組む人材・企業などが評価されるしくみづくり
  - 地域などで活躍する実践的な社会起業家を育成する学びの場づくり（社会起業家大学校など）
  - ニーズとのマッチング、活動支援などを担う中間支援組織・社会起業家ネットワークの形成
- ・高齢社会を支え、地域のつながりをつくるしごとの創造
  - 住民出資による共同店舗や移動販売、買い物弱者をつくらない御用聞きなどのビジネスモデルへの参入・起業促進<sup>(再掲)</sup>
  - 介護、生活支援など、高齢者や障害のある人などの暮らしや余暇を支えるサービス産業の育成、高度人材の育成<sup>(再掲)</sup>
  - 情報通信技術を活用した介護・保育の見守りサービスなど、生活の安心安全を支える新技術の開発・普及<sup>(再掲)</sup>
  - 住民主体によるコミュニティビジネスや、地域ファンド、中間支援組織などの起業促進



生きがいしごとサポートセンターでは合同就業相談会などを実施。コミュニティビジネスの起業支援に取り組んでいる。



NPOの活動を支援する中間支援組織の重要性が目目されつつある。(写真：ソーシャル・デザイン・ファンド(宝塚))



独居高齢者などの自宅訪問・弁当配達に取り組むNPO（神戸）などが増えている。

### 国内外の特色ある人材が集まるアジアの人材育成拠点づくり

- ・しごとに直結する就業訓練など、人材力強化のしくみづくり
  - ものづくりを支える人材や、雇用吸収力が見込まれる介護・福祉分野の人材など、専門的な技能を有する人材の育成
  - 高度な経営力を有し、世界企業、地域産業などで幅広く活躍できる人材の育成

- ・世界にはばたく「兵庫発」の人材育成の推進
  - 姉妹・友好提携州省などとの交流体験による青年リーダー育成<sup>(再掲)</sup>
  - 多言語習得、ギャップイヤーを活用した海外企業でのインターンシップなど、国際的なキャリア形成の促進<sup>(再掲)</sup>
  - 海外進出をめざす企業と県内人材のマッチングなど、「兵庫発」の人材が活躍できる県内のしごとの場づくり
- ・特色ある海外人材が集まる拠点づくり
  - 県内での就職を希望する留学生への就職サポートの充実など、留学生と企業を橋渡しするしくみづくり
  - 知的基盤を求心力とした研究者などの集積、国際的な大学間協定などによる創造的な人材集積の拡大
  - 看護・介護などの専門人材や、国際食と農の学校の開設、高度な農業技能の継承などによる高度専門人材の育成拠点づくり



ひょうごの匠キャラバン隊では、県内の卓越したものづくり技能者の技を中学生が実体験できる。



県立大学に経営専門職大学院を開設。経営プロフェッショナルを養成する。  
(写真：オープンキャンパス)

### 誰もがやりがいを持って働けるしくみづくり

- ・女性や若者が働きやすいしくみの充実
  - しごとと子育ての両立など、教育機関、企業などとの協働による若年層に向けた多様な働き方モデルの充実と理解促進、実践の拡大
  - 在宅ワークを希望する育児期間中の親と企業のマッチング、性別に関わらず育児休暇を取得しやすい環境づくり、企業による託児所の共同運営などの取組拡大
  - NPOや地域団体、地元企業などの連携のもと、ニート、ひきこもりの若者などの自立・就労をサポートするしくみづくり
- ・高齢者の元気を社会に生かすしくみの充実
  - 高齢者の知見を生かし、社会参加により生きがいを実感できる場や機会の創出
  - 高齢者が主役の地域のしごと(地域ぐるみの子育て、介護など)
- ・障害のある人たちが主役のしごとの充実
  - 適性や能力に応じたしごとをマネジメントするNPOなどの支援
  - 特例子会社の設置推進など、障害に応じた働きやすい環境の整備と適正な収入の確保



ひょうご国際プラザは、国際性豊かな地域づくりの拠点として開設。(写真：交流サロン)

### しごとと生活が調和した多様な働き方の拡大

- ・しごとと生活のバランスを図り、生きがいを実現できる環境づくり
  - しごとと生活のバランス確保に取り組む企業などの活動促進
  - 雇用形態によらない給与の均等待遇など、生きがいを実現できるしごと環境づくり
- ・「働れない」働き方が選択できる環境づくり
  - ギャップイヤーを活用した社会貢献、インターンシップなどが評価される採用のしくみづくり(新卒一括採用制度の見直し)
  - NPOや地域で活躍する人材と企業などとのマッチング支援など、複線型のキャリア形成を実現するしくみづくり
  - 一人ひとりが経営に参画する協同労働など、新しい働き方をめざす取組の拡大、情報共有のネットワークづくり



県と事業者が、男女共同参画社会づくり協定を締結。事業者の取組を支援している。



事業所内保育所の整備に取り組む団体(多可)などが増えている。